

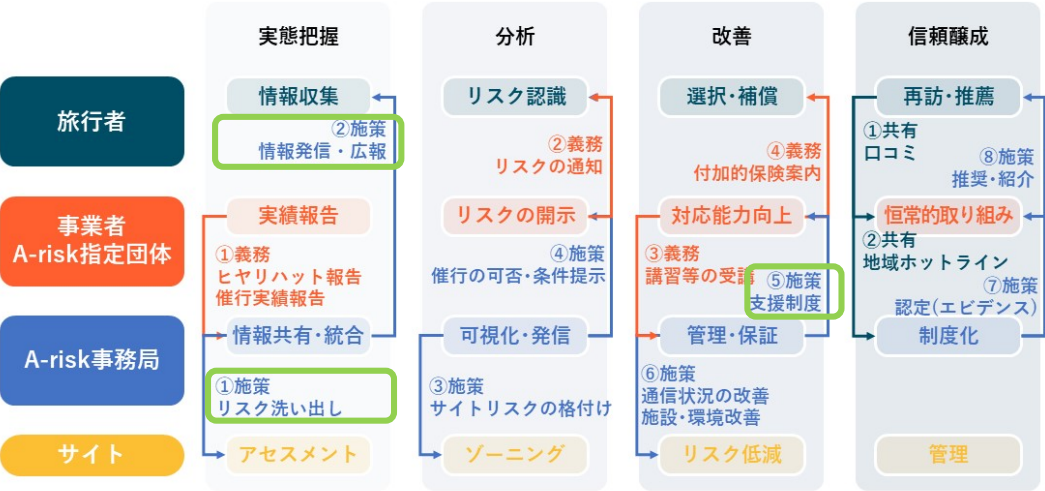
知床アクティビティリスク管理体制検討協議会の検討状況

1. 最終報告概要

- (1) 資料1－2のとおり
- (2) 取り組みの全体像／制度全体の流れ

11

全体像



※ 2024 年度 先行実施予定事業

2. 事務局体制検討の枠組み

- (1) 知床斜里町における自然そのものを体験・体感するアクティビティのリスクを可能な限り低減し、その可視化を含めてマネジメントを行い、自然環境の保全と安全確保を図っていくことを目的にアクティビティのサポートを行う事務局を設置する。
- (2) 事務局体制は「知床斜里町観光協会、一般社団法人知床しゃり、斜里町」の3団体で事務局をスタートさせ、各論の部分については関係機関と個別協議して進めていく。
- (3) 組織名称は「知床しゃりアクティビティサポートセンター」として立ち上げ予定。当面は行政が運営の部分、財政的な部分も含めて担っていく予定。

3. 2024 年度実施事業概要

(1) 支援業務

- ① 国交省の知床遊覧船事故対策検討委員会において早期搭載の促進が必要とされた3つの安全設備（「改良型救命いかだ等」「業務用無線設備」「非常用位置等発信装置」）について、導入費用の一部を補助し、小型旅客船等の安全対策を行う。
- ② 知床小型観光船協議会に加入する小型観光船事業者を対象とする。

※本マネジメント制度における【事務局による施策③支援制度（次ページ参照）】の一部を先行的に着手

(2) 情報発信・広報

- ①自然アクティビティの総合的な情報収集、情報発信・広報を行い、広く旅行者及び、事業者、地域に共有することが求められている。知床には多種多様な自然アクティビティの魅力がある反面、アクティビティの利用によるリスクや安全対策に係る情報を戦略的に発信し、自然アクティビティのリスクを低減する取り組みを進める必要がある。
- ②このことから、情報発信の主体となるアクティビティリスクに係るホームページを制作するとともに、ページのレスポンス化、他の関連サイトの連動・連携を図り、サイト別、アクティビティ別のリスク情報を消費者及び、事業者等、地域全体に発信する業務を行う。

(3) リスクの洗い出し

- ①知床アクティビティリスク管理検討協議会の最終報告書からも、自然アクティビティが有するリスクの把握と整理を継続的かつ可能な限り網羅的に行うため、定期的に調査を行うことが求められている。
- ②自然アクティビティのリスクを可能な限りの低減に向けてはリスクの洗い出しが極めて重要であることから、アクティビティを提供する事業者への聞き取りを軸に、外部専門家によるヒアリング項目調査を組み込み、客観性を補うことでリスクの把握を行う業務を実施予定。

(4) その他業務

【事務局による施策】

- ①サイトリスクの格付け → 3段階で概ね格付け整理
- ②催行条件の確認・共有
→ 小型観光船について協議会の基準を地域の基準として採用し HP 制作後発信を予定
- ③支援制度
→ 小型観光船の安全対策に係る分を先行し、その他どのような支援が求められているか協議検討していく予定
- ④認定（エビデンス） → 詳細な認定、不認定整理予定
- ⑤推奨・紹介の促進 → 実施方法等検討予定

【事業者の義務】

- ①ヒヤリハット報告催行実績報告
→ 事務局が取集窓口を設置し情報を蓄積することを検討
- ②リスクの通知
→ 事務局が整備するウェブサイト上での通知、道の駅等での掲示を検討
- ③講習等の受講
→ 事務局と事業者で協議を行い進めていく。当面は小型観光船協議会のみ先行して実施するか検討
- ④付加的保険案内 → 保険会社との調整、保険商品の開発検討

【旅行者の共感醸成】

- ①口コミの管理・共有 → 対応方針を検討
- ②地域ホットラインの設置 → 事務局に意見等を寄せられる窓口を設置検討